

# OBD IIメモリーバックアップ取扱説明書



キット内容	品番 JTC4726A	
・本体	1個	
・9V用配線	1本 ・9V電池	1個
・12V用配線(ワニ口)	1本 ・+端子保護カバー	1枚

※本製品は12V車専用です。

## OBD IIメモリーバックアップご使用の注意点

本製品はバッテリー交換時の短時間に車両のコンピューターやオーディオ等のメモリーを保持する為の商品です。钣金作業時や車両の整備時など長時間の作業を伴う際には使用しないで下さい。

間違った使用法は本製品の破損や車両の不具合、データ等の消去の原因となりますので作業開始前に必ず取扱説明書・使用時の注意点等、熟読頂き御理解頂いた上で作業をしてください。車両のバッテリー状態によっては電圧不足によりコンピューター等のメモリーが保持されて無い場合があります。車両が上記の様な場合、本製品を使用されてもメモリーが保持されません。その場合車両のサービスマニュアル等を参考にしてスキャンツールでのリセット作業が必要な場合があります。

※本製品を使用して生じた場合の本機の故障、又は車両側の機器に対する損傷及び故障、データの消失等に関してましては一切保障いたしません。十分御理解頂き御使用ください。



(図1)

1. キーシリンダーからキーを抜いてください。  
※スマートキー等は車輛に反応しない離れた位置に置いてください。  
車両の16ピン診断コネクターの位置をご確認ください。  
車両の16ピン診断コネクターは一般的に運転席側のダッシュボード下部周辺にあります。  
一部車両によってはセンターコンソール部、灰皿裏側にある場合があります。詳しくは車両のサービスマニュアル等をご確認ください。



(図2)



(図3)

2. 左図2のように車両の16ピン診断コネクターとメモリーバックアップの本体を接続します。
3. 16ピン診断コネクターまで電圧がかかっている場合、図3のようにメモリーバックアップの本体に緑色のLEDが1個点灯します。

※注意：バックアップ作業を開始する場合は車の窓を開けて全てのドアは閉めて、車外より作業を行ってください。  
本機はメモリー保持の補助用電源であり車両に多量の電気を流す設計ではありません。  
絶対に車両に多量の電気を流さないで下さい。

輸入車の様にキーOFF後にラジオ等の電源が落ちない車や、しばらくの間メーター表示が点灯している車の場合にはルームランプやメーター表示、ドアスイッチの消灯を確認した後、バックアップ作業を行ってください。(ルームランプやドア開閉の警告灯などは12Vの電球が使用されており、ドア開閉等で通電すると本機に過度の負荷が掛かり内部基盤及びヒューズ破損の原因となります。車両側もヒューズの破損や配線焼け、車両の不具合、車両側の機器の損傷及び、データの消去等を起こす場合がありますので絶対にJTC4726A側から多量に通電させないで下さい。)

(1)

(図4)



4. 供給電源を電池(9V)で行う場合は、9V用のコードに電池(9V)をセットします。  
バッテリー(12V)で行う場合は、12V用コードのワニ口の赤色を最初にバッテリーのプラス端子に接続してください。次にワニ口の黒色をバッテリーのマイナス端子に接続してください。



9V電池



12Vバッテリー

注意：プラス側とマイナス側を間違えない様に接続してください。

(図5)



5. 供給電源の電池もしくはバッテリーを接続した後に、メモリーバックアップ本体に接続してください。本体のLEDランプが両方緑色になれば、正常に作動しています。片側が赤色に点灯した場合は、電池もしくはバッテリーの電力不足が考えられます。電圧が十分に得られる電池もしくはバッテリーに交換してください。(図4、5)(車両によっては、メモリー用でも多くの電力を消費する場合があります。新品の電池を使用しても急激な電圧降下によりLEDが赤色に点灯する場合があります。その際は付属の12V用コードを使用しバッテリーより電源を取り作業して下さい。)

注意：OBD-IIのコネクターにメモリーバックアップ本体を接続した後は、供給電源コードのプラス側とマイナス側が接触しショートしない様ご注意ください。

6. 供給電源の接続が完了したら、バッテリーを外す前に再度車両の全てのドア、トランク等が閉まっており車両に電気の使用が無い状態になっている事を必ず確認して下さい。確認後車両のバッテリーを外しバッテリーの交換作業を素早く行って下さい。

注意：バッテリー交換時に車両側の+端子を外した際は付属の+端子用保護カバーを使用して端子がボディに接触しない様に絶縁して下さい。(バックアップ用の電気が流れているのでボディに触れるとショートします。本機に過度の負荷が掛かり内部基盤及びヒューズ破損の原因となります。車両側もヒューズの破損や配線焼け、車両の不具合、車両側の機器の損傷及び、データの消去等を起こす場合がありますのでご注意ください。)

12Vのバッテリーでバックアップの電源供給を行っている場合でも車両システムの作動テストは絶対に行わないで下さい。

※車両によってバッテリーがエンジンルーム以外に付いている場合には車両に合った方法で作業を行ってください。

### 例①：バッテリーがトランク内についている場合

トランク内の照明が時間経過で自動的に切れる場合には消灯まで待って作業を行ってください。トランク内の照明にスイッチが付いている場合はスイッチをOFFにして作業を行ってください。トランク内の照明にスイッチが無く自動で消灯しない場合は開閉スイッチにテーピング等を施しランプが点灯しない様にして作業を行ってください。

### 例②：バッテリーが車内リアシート下部についている場合

リアシート座面を取り外し交換するバッテリーを持って車内に乗り込み窓を開けドアを閉めてルームランプやシステムがスリープ状態になった事を確認して作業を行ってください。

(2)

# OBD IIメモリーバックアップ 使用不可車両につきまして



(図1)

通常キーシリンダーからキーを抜いて左図2のようにOBD IIのコネクターとメモリーバックアップの本体を接続するとコネクターの通電チェックのLEDランプが点灯します。(図3)

点灯する車両は常時電源が供給されている為、JTC4726Aにてバックアップが可能です。  
平成13年頃の初期のOBD II端子の付いているダイハツ車や一部のホンダ車ではキーをOFFでは点灯しない車両があります。これらの車両はキーシリンダーの位置がACCやONの位置にしないと車両の16ピン診断コネクターへ電源供給されません。ACCやONの位置では車両の電装品が作動する為、本器でのOBD II端子からのバックアップは使用出来ません。



(図2)



(図3)

※万一、ACCやONの位置で使用した場合や作業の途中でドアを開けた場合には車両のシステムが起動しバックアップ電源側から多量に電気を流そうとする為、本機に過度の負荷が掛かり内部基盤及びヒューズ破損の原因となります。  
車両側もヒューズの破損や配線焼け、車両の不具合、車両側の機器の損傷及び、データの消去等を起こす場合がありますので絶対にキー操作や作業途中でのドアの開閉等は行わないで下さい。

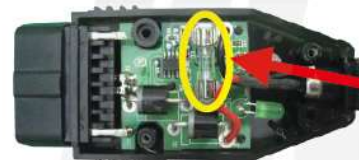
当商品に付きましては、車両への損害防止と安全性を考慮しキーを抜きすべての車両システムがスリープ状態になってから使用する設計です。

- ※ 輸入車や商用車におきましてはOBDからOBD IIへの移行時期の設計の車両の場合、旧コネクターとOBD II端子の両方が付いている場合があります。  
このような車両の場合、OBD IIの端子がダミーの場合がありますので、最初に本機を接続し通電チェックのLEDランプが1個点灯するか確認後、作業を行って下さい。

※ 作業中に誤って本機に負荷を掛けた場合やショートさせた場合、本体内部のヒューズが破損致します。

バックアップしない、ランプの点灯の異常がある場合、本体内部のヒューズ切れが原因の場合がありますので本機内部をご確認ください。

本機の表裏のプラスネジ4本を取り外して、基盤と配線に注意して本機を分割して下さい。内部に管ヒューズがありますのでテスターにて通電状態をご確認下さい。



補充部品ヒューズ (250V/8A 20mm)  
品番 JTC4726A-S

輸入発売元 **JTC Auto Tools** 株式会社  
E" M : info@jtcautoools.co.jp  
FAX : 0834-36-0010